



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月27日

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント
コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成29年4月28日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	179,892	21.0	14,306	41.0	13,346	43.8	2,628	76.7
28年9月期第2四半期	148,640	19.9	24,239	16.9	23,738	12.9	11,258	14.1

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 6,410百万円 (52.7%) 28年9月期第2四半期 13,564百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	20.90	20.81
28年9月期第2四半期	89.64	89.33

(注1) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(注2) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定の基礎となる四半期純利益は「親会社株主に帰属する四半期純利益」であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	155,372	94,670	49.2
28年9月期	156,597	92,614	49.3

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 76,504百万円 28年9月期 77,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		50.00	50.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成28年9月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	15.9	28,000	23.9	26,700	24.5	10,000	26.5	79.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定の基礎となる当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」であります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	126,426,600 株	28年9月期	126,426,600 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	699,716 株	28年9月期	724,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	125,720,553 株	28年9月期2Q	125,597,372 株

(注)当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成29年3月末における一般世帯のスマートフォン普及率は69.7%（注1）まで拡大し、平成29年のスマートフォン広告市場は、前年比23.7%増の8,010億円（注2）と順調な成長が見込まれます。特に動画広告市場（PC含む）の急成長が予想され、平成29年には前年比39.9%増の1,178億円に拡大し、平成34年には2,918億円に達すると予測されております（注3）。

このような環境のもと、当社グループは、引き続きスマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、「AbemaTV」等の動画事業への先行投資を強化し、当第2四半期連結累計期間における売上高は179,892百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は14,306百万円（前年同期比41.0%減）、経常利益は13,346百万円（前年同期比43.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,628百万円（前年同期比76.7%減）となりました。

出所（注1）内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査（平成29年3月実施調査結果）」

（注2）D2C/サイバー・コミュニケーションズ「2016年インターネット広告市場規模推計調査」

（注3）当社/デジタルインファクト「国内動画広告の市場動向調査」

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①メディア事業

メディア事業には、「AbemaTV」、「FRESH!」、「Ameba」等が属しております。

「AbemaTV」等の動画事業への先行投資により、売上高は12,341百万円（前年同期比10.9%増）、営業損益は9,722百万円の損失計上（前年同期間719百万円の利益計上）となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)サムザップ、(株)ジークレスト、(株)アプリボット、(株)Craft Egg等が属しております。

既存タイトルが堅調な中、新たなヒットを創出し、売上高は70,514百万円（前年同期比22.8%増）、営業損益は14,370百万円の利益計上（前年同期比8.9%減）となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

スマートフォン向けのインフィード広告（注）や動画広告の順調な販売等により、売上高は101,350百万円（前年同期比20.0%増）、営業損益は10,040百万円の利益計上（前年同期比26.2%増）となりました。

（注）インフィード広告：Webサイトやアプリのタイムライン等に掲載される広告

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、売上高は897百万円（前年同期比38.8%増）、営業損益は29百万円の利益計上（前年同期比57.4%減）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)シーエー・モバイル、(株)ウエディングパーク等が属しており、売上高は5,986百万円（前年同期比37.6%増）、営業損益は773百万円の利益計上（前年同期比74.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は155,372百万円(前連結会計年度比1,225百万円の減少)となりました。これは、主に法人税等及び配当金の支払に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は60,701百万円(前連結会計年度比3,281百万円の減少)となりました。これは、主に法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は94,670百万円(前連結会計年度比2,055百万円の増加)となりました。これは、主に有価証券評価差額金及び非支配株主持分の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて12,885百万円減少し、38,882百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは326百万円の増加(前年同期間は13,143百万円の増加)となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは9,904百万円の減少(前年同期間は8,656百万円の減少)となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは3,639百万円の減少(前年同期間は3,627百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月27日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,774	38,884
受取手形及び売掛金	42,572	48,123
たな卸資産	192	330
営業投資有価証券	12,591	12,631
その他	7,703	10,179
貸倒引当金	△187	△130
流動資産合計	114,647	110,017
固定資産		
有形固定資産	8,633	8,800
無形固定資産		
のれん	1,821	1,719
その他	18,607	20,990
無形固定資産合計	20,429	22,709
投資その他の資産		
その他	13,394	14,359
貸倒引当金	△506	△514
投資その他の資産合計	12,888	13,844
固定資産合計	41,950	45,354
資産合計	156,597	155,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,601	32,856
短期借入金	854	895
未払法人税等	11,169	6,924
その他	22,512	17,819
流動負債合計	62,137	58,495
固定負債		
長期借入金	91	173
勤続慰労引当金	762	923
資産除去債務	890	966
その他	101	144
固定負債合計	1,845	2,206
負債合計	63,983	60,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	4,780	4,789
利益剰余金	63,573	62,222
自己株式	△765	△740
株主資本合計	74,791	73,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,440	2,938
為替換算調整勘定	△91	91
その他の包括利益累計額合計	2,348	3,030
新株予約権	516	644
非支配株主持分	14,957	17,521
純資産合計	92,614	94,670
負債純資産合計	156,597	155,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	148,640	179,892
売上原価	92,619	119,908
売上総利益	56,020	59,984
販売費及び一般管理費	31,780	45,677
営業利益	24,239	14,306
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	50	53
為替差益	—	154
その他	43	58
営業外収益合計	99	274
営業外費用		
支払利息	4	7
持分法による投資損失	498	1,181
その他	98	46
営業外費用合計	600	1,234
経常利益	23,738	13,346
特別利益		
固定資産売却益	64	269
投資有価証券売却益	1,669	—
その他	42	51
特別利益合計	1,776	320
特別損失		
減損損失	2,545	1,086
その他	447	428
特別損失合計	2,992	1,515
税金等調整前四半期純利益	22,522	12,151
法人税、住民税及び事業税	8,151	7,357
法人税等調整額	569	△686
法人税等合計	8,721	6,671
四半期純利益	13,800	5,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,541	2,851
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,258	2,628

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	13,800	5,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	512
為替換算調整勘定	△176	344
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	73
その他の包括利益合計	△236	930
四半期包括利益	13,564	6,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,135	3,310
非支配株主に係る四半期包括利益	2,428	3,099

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,522	12,151
減価償却費	3,181	4,050
減損損失	2,545	1,086
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,669	△3
売上債権の増減額(△は増加)	110	△5,496
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△396	397
仕入債務の増減額(△は減少)	68	5,468
未払金の増減額(△は減少)	△1,766	△3,185
未払消費税等の増減額(△は減少)	△955	△1,593
その他	412	△1,170
小計	24,052	11,706
利息及び配当金の受取額	96	61
利息の支払額	△4	△7
法人税等の支払額	△11,001	△11,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,143	326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,271	△1,481
無形固定資産の取得による支出	△6,609	△6,861
投資有価証券の売却による収入	1,771	62
投資有価証券の取得による支出	△465	—
関係会社株式の取得による支出	△832	△345
貸付けによる支出	△1,021	△1,291
その他	△226	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,656	△9,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
子会社の自己株式の取得による支出	△1,202	—
配当金の支払額	△3,139	△3,136
投資事業組合員への分配金の支払額	△234	△441
その他	948	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,627	△3,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141	277
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	717	△12,940
現金及び現金同等物の期首残高	38,716	51,767
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8	55
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,425	38,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	ゲーム	インターネット 広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,457	56,938	80,590	646	4,006	148,640	—	148,640
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,666	483	3,835	—	342	9,327	△9,327	—
計	11,124	57,421	84,425	646	4,349	157,967	△9,327	148,640
セグメント利益又は損失 (△)	719	15,775	7,958	70	442	24,967	△727	24,239

(注)セグメント利益の調整額△727百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	8,947	70,221	94,415	897	5,410	179,892	—	179,892
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,393	292	6,934	—	576	11,197	△11,197	—
計	12,341	70,514	101,350	897	5,986	191,090	△11,197	179,892
セグメント利益又は損失 (△)	△9,722	14,370	10,040	29	773	15,492	△1,185	14,306

(注)セグメント利益の調整額△1,185百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、インターネット広告事業の更なる成長・強化を目的とした組織再編・事業再編を行ったため、事業の実態に合わせ「その他事業」に属していた㈱シーエー・モバイルの広告関連事業を「インターネット広告事業」に移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。